



# 新・農業人フェア

## 開催レポート



### 地域活性化コミュニティRural Laboから集まった学生が イベントの様子をレポートします！

9月30日（土）新・農業人フェア 農業EXPO イベントレポート

#### はじめに

新・農業人フェア2023は、農業に興味を持つ人々にとって、情報収集、交流、楽しみの場として大変魅力的なイベントでした。特に、運営スタッフの若々しさと多彩なブース出展、会場全体の雰囲気、そして入場フォームの工夫が印象的でした。

#### 1. 活気ある若手スタッフと親しみやすい雰囲気

新・農業人フェア2023を訪れた際、まず印象的だったのは運営スタッフの活気ある姿勢でした。多くの若手スタッフが笑顔で参加者を迎えており、イベント全体として明るく楽しい雰囲気があり、それらが農業自体へのイメージも明るくしていました。

#### 2. 魅力的なブース出展と地域ツアーの魅力

新・農業人フェアではブース出展と地域の紹介で、地域ごとの農業への想いを感じることができました。イベント内では、地域の特産品や観光スポットを体験できるツアーが多数提供されており、地域の魅力を存分に感じることができました。一方で就農を気軽に考えているライト層にとって、地域おこし協力隊や継続的な農業の関わり方を求めている雰囲気が感じられることが少し負担に感じる部分もありました。

女子のための農業相談コーナーは初心者向けのアドバイスや情報提供が行われており、性別に関係なく、気軽に農業に取り組めることが分かって良かったです。

#### 3. 会場全体の様子

新・農業人フェアの休憩コーナーはブースで話を聞いた内容をゆっくり自分の中で整理できました。また、当日のイベント進行がどのような企業なのか分かりずらく、それが参加者にとってはイベント自体に集中する契機になっていた印象がありました。

ブース出展は大きいのれんがかかっており、どんなブースなのか一目で分かる雰囲気がとても良かったです。団体によっては積極的に声かけをしており、熱量の高さを感じられました。また、市区町村のブースからその都道府県のブースに案内されるなど、上手に連携を図っているブースもありました。一方で、ずっと俯いていたり、スマホをいじっているブース、隣の団体とずっと話していたり、参加者側の椅子に向かい合って話しているブースがあり、そのようなブースは参加者にとって立ち入りにくい印象がありました。

#### 4. 入場フォーム・スタンプラリーについて

新・農業人フェアの入場フォームに記入するなかで、農業は単なる畑仕事だけでなく、酪農、畜産、食品生産など、多くの要素を含んでいることを再認識することができました。一方で就農前提の質問項目もあり、初見さんお断り、な雰囲気も感じられました。

アンケートコーナーのスマートフォンを活用した仕組みは、アンケート記入が簡単に行える一方、スタンプラリーは紙面で記入しなければならない、各ブースで細かい質問項目が書かれたシートを記入しなければならない点が非効率に感じる部分もありました。

#### まとめ

全体を通して農業へのイメージが大きく変わりました。就農者が減っている＝農業界がキツイ、大変、面白くない、というステレオタイプに縛られていましたが、実際に参加すると、出展者がとても熱量高く説明してくれて、こちらワクワクしました。また、年代関係なく就農者を募集しており、就農希望者向けにかなりハードル低く参加できるツアー・農業インターンを用意されていることを知り、地域活性化や地方創生に興味ある学生にとって、実際に地域で働くイメージを感じられるため、是非そのようなツアーがもっと流通してほしいと感じました。



新・農業人フェア